

明けましておめでとございませす。
市民の皆さまには、輝かしい新春を
健やかに迎えのこととお喜び申し上
げませす。

昨年を振り返りますと、一昨年末に
自民、公明連立で誕生した安倍政権は、
「二本の矢」などの成長戦略や昨年7月
の参議院議員選挙の勝利で安定した政
権運営が図られるようになりました。
それに伴い、我が国の経済も回復の兆
しが現れてまいりました。しかし、中
国や韓国との関係は依然として厳しい
状況が続き、今後の国際情勢の不安材
料として残ったまま年を越しました。

本市においては、昨年11月、市街地
再開発事業として長年の懸念であった
栄・常盤地区が「サンクル」の愛称で商
業・福祉・住宅施設を一部先行開業さ
れるとともに、佐世保駅みなと口側の
三浦地区みなとまちづくり計画におい
ては、地元資本のエレナグループが中
心となり新たな商業施設「させば五番
街」を開業され、中心商店街と連携し
ていくことで、新たな魅力ある中心市
街地としてスタートを切ることに
なりました。

このほかにも佐世保市学校給食セン
ターが完成し、9月には市内全中学校
で完全給食が始まりました。また、夏
には全国高等学校総合文化祭「長崎し
おかぜ総文祭」や全国高等学校総合体
育大会(空手道競技)、長崎がんばらん
ば国体のリハーサル大会7競技などを
全国各地から大変多くの皆さまをお迎
えして開催し、成功のうちに終了する
ことができました。

また、基地問題に関しましては、昨
年3月、崎辺地区において暫定的に運
用されていた米海軍エア・クッション
型揚陸艇(LCAC)の西海市横瀬貯油
所への移転が完了しました。加えて、
6月には立神港区第3号岸壁の一部、
第4号岸壁、第5号岸壁の一部及びそ
の背後地の返還について、日米合同委
員会において合意されたところであり、
当該地の返還・売払いに向けて大きく
前進を見たところでありませす。

このように、昨年は佐世保市制施行
111周年の新しいスタートを飾るに
ふさわしい事業推進が図れたものと考
えております。



平成26年
年頭の
ごあいさつ

限られたチャンスをも 逃すことなく

佐世保市長 朝長 則男

3



三ヶ町アーケードでは、複合ビル「サンクル」の商
業施設が11月2日にオープンし、テープカット(上)
などのセレモニーが行われ、多くの人でにぎわい
ました(中、下)。

4



四ヶ町アーケードでは、昨年「第2回させばバルさ
るく」(上)など数多くのイベントが開催されました。
「きらきらフェスティバル」(下)では今回も美しい
イルミネーションが街を彩りました。

5



佐世保駅みなと口側では、「させば五番街」のオー
プニングセレモニーが11月29日に開催され(上)、
多くの人でにぎわいました(中)。夜の港周辺では、
これまでと違った雰囲気を楽しめます(下)

本年の展望

ことしの我が国の政治経済動向としては、「デフレ脱却ができるか」「消費税8%の影響はどうか」「中国・韓国との関係は改善できるか」など、一部懸案材料はあるものの、国内政治が安定的方向に進んでいることは、地方行政を預かる立場としては歓迎すべきことと捉えております。

このような見通しの中で、ことしの佐世保は、1月2日の九十九島動物園森きららの「新ペンギン館」のオープンをはじめ、4月には佐世保発・日本初の「フェルメールとレンブラント展」を開催し、春には三浦岸壁の供用開始に伴う佐世保港初となる外国船籍のクルーズ客船の寄港、そして、秋にはいよいよ「長崎がんばんば国体」「長崎がんばんば大会」が開催されるなど、市内外から多くの集客が期待できるイベント等が数多く予定されています。

このほか、昨年末にほぼ完成した市営工業団地「ウエストテクノ佐世保」への企業誘致や石木ダム建設の促進、市立総合病院救命救急セン

ター落成による本格稼働、統合型リゾート（TR）の法制化に向けての動き、農水産物産地化・ブランド化の推進、前畑弾薬庫移転・返還をはじめとする港のすみ分け推進、地域コミュニティ事業の推進などにも引き続き全力で取り組んでまいりたいと思います。



長崎がんばんば国体
10月12日(日)~22日(水)
長崎がんばんば大会
11月1日(土)~3日(月・祝)
市内各会場



ヨハネス・フェルメール
「ヴァージナルの前に座る若い女」
ライデン・コレクション・ニューヨーク

フェルメールとレンブラント展
4月5日(土)~6月19日(木)
島瀬美術センター



九十九島動物園「森きらら」
新ペンギン館
1月2日(木)グランドオープン!

「やさば観光3ししGOO」作戦」と4つ目の「C」チャンス

観光振興は、ことしも本市成長戦略プロジェクトの大きな柱の一つであると考えており、九十九島の観光PRやハウステンボスとの連携、佐世保・小値賀で構成する「海風の国」新観光圏の事業などを含め、さらに力を入れていきたいと思えます。

そのためには「おもてなしの心」を持つて観光客を受け入れることができる体制を市民の皆さんと一緒に作っていかねばなりません。

そこで、その手法として「やさば観光3ししGOO」作戦」を提唱いたします。これは市民一人お一人に、自分が推奨する佐世保の「美しい」「楽しい」「美味しい」を1つずつ持っていたらいいというもので、「佐世保

には何かあるの？」と観光客に尋ねられたときなどに、自分の好きな「美しいところ」「楽しいこと」「美味しいもの」を即座に自信と誇りを持って答えていただきたいという願いを込めた試みです。本市が今後佐世保の良さを全国に発信し、「観光立市」として発展していくためには、こうした取り組みがぜひ必要であると考えていますので、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

私はこれまでも市職員をはじめ市民の皆さまに私が市政に取り組む心構えとして「3C（チャレンジ、チェンジ、「コミュニケーション」）の話をしてまいりました。ことしはこれにもう1つ加え、「4C」を提唱したい

と思います。4つ目のCは「チャンス」です。

これから日本や佐世保市の成長戦略の中で、さまざまな事業チャンスやビジネスチャンスが訪れることと思います。チャンスは限られた時間と場所に訪れます。その時を逃がすことなく積極的にチャレンジしていくことが、佐世保の発展につながっていくものと信じています。市民の皆さま方の奮起を大いに期待しています。官民一体となって佐世保を進化させようではありませんか！

本年が市民の皆さまにとりまして、素晴らしい年でありますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。